

プロフェッショナルの時代、到来。

デザインプロダクション代表 / アートディレクター / グラフィックデザイナー

浅川 哲二



あさかわ てつじ

神戸市生まれ。株式会社サーカス・サーカス代表。子供の頃から漫画や絵を描くことが大好きで、マンガ雑誌を買うときや好きなアーティストのレコードを買うときのジャケットデザインを見てワクワクした気持ちを忘れない事が仕事の原点。デザインプロダクション勤務を経て、1999年に独立、現在に至る。

▶ホームページ <https://circus2.jp>

このコラムを書かせていただいている4月下旬は、世界中で新型コロナウイルスが猛威をふるっています。最前線で闘う医療従事者の方々に敬意を払い、心から感謝致します。

私は〈プロ（フェッショナル）〉という言葉が好きです。今、命の危険を覚悟の上で医療に携わっている医療従事者の皆様はまさしく〈プロ（フェッショナル）〉です。

では、そもそも〈プロ〉の定義とは何なのか。医師、看護師、弁護士、税理士、建築士などは資格（免許）が必要な〈プロ〉です。その線引きは明確で、アマチュアの医師というものは存在しません。

しかし、私が属している世界は違います。私はグラフィックデザイナーですが、カメラマン、作家、歌手、スポーツ選手、役者などと同様、資格がいない〈プロ〉です。このような自己申告の〈プロ〉は、仕事として成り立っているのであれば〈プロ〉と名乗っても差し支えないでしょうが、実際にはレベルも様々で、アマチュアとの線引きは曖昧です。しかしそのなかでも真の〈プロ（フェッショナル）〉がいると思うのです。

私の経験をお話すれば、三十数年前はグラフィックデザイナーと言えば〈特別な仕事〉のように周りから思われていました。

ところが今では専門的な知識・技術・ノウハウが誰でもカンタンに手に入るようになり、〈特別な仕事〉から〈誰でもできそうな仕事〉になりました。デザインのみで生計をたてているプロダクションは、当時と比較してかなり少なくなっています。さらに今回の新型コロナウイルスの影響も受け、ますます淘汰されていくでしょう。

そんな状況でも、生き残っていける人。それが真の〈プロ（フェッショナル）〉です。

違いは、「〈志〉を持ち続けられるかどうか」だと思います。誰もが最初は「こうりたい」という高い〈志〉を持っています。しかし、それを持続することは容易ではありません。

〈志〉を持ち続ける人は、たとえアマチュアであっても、〈志〉のない〈プロ〉よりずっと尊い存在だと思います。その人にしか生み出せない価値を、社会に提供できるはずで。

今、世界中、社会全体が厳しい試練にさらされています。困難な状況におかれても、揺るぎなく、高い〈志〉を持ち続けられるか？それが今、業種を問わず試されているのではないのでしょうか。（先日、ニュースで見た若いダンサーは、自身が経営するスクールの休業中、出前のバイトをしてスタジオを維持。スクール再開を生徒に約束して…）

真の〈プロ（フェッショナル）〉が評価される時代の到来です。

私も初心を忘れることなく、これからも〈志高く〉精進していきます。

